

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和3年5月24日
第9号



ひょうたんいけを見てみると、きれいな睡蓮（スイレン）の花が咲きはじめました。睡蓮は水の上に浮かぶように咲く印象的な水生植物で、古くからエジプトでは神聖な花として扱われてきたようです。花色は白、黄色、ピンク、赤、紫、青紫、青と種類も豊富です。それとよく似ているのが蓮（ハス）です。睡蓮は水面に浮かぶように葉や花をつけるのに対し、蓮は水面より1m以上高く茎をのばし、その先に葉や花をつけるのだそうです。睡蓮は花径約10cm程度なのに対し、蓮の花径は概ね20cm程度と蓮に比べて少し花径が大きいです。私も違いがあまりわからず、ひょうたんいけの前を通りかかった職員に「最近きれいな蓮の花が咲きはじめましたねえ」と言ったら、「これは睡蓮ですよ」と言葉を返されてしまいました。さっそくスマートフォンを取り出して調べてみると、これまでに書いたような違いが紹介されていました。

子どもたちは現在、理科で植物や木々の観察を行っています。市教委から1人1台のタブレットが配付され、さまざまな学習活動に使用することが推進されています。私が小学生だった頃は、辞典や辞書を出してきては調べたものですが、情報機器が発達した今では、子どもたちがタブレットを取り出しインターネット検索をして、何でも調べられるような日常となってきています。

1年生が種を植えたアサガオも芽を出し成長しています。小学生という多感なこの時期に、子どもたちには、何でも興味を持ったらすぐに調べられるような学習環境を、しっかりと整えてあげたいと考えています。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子を紹介しています。



食育の授業を行っています。

食育とは、「子どもたちが一生涯にわたって健やかに生きていくことができるよう、その基礎を作るために行われるもの」です。桜台小学校では、桜小学校と兼務の岡本栄養教諭が中心となって、担任と話し合いながら、児童の実態に応じて計画的に授業を実施しています。4年生は「給食からゴミについて考えよう」というテーマで、ゴミを減らす取り組みについて考えました。捨てる部分を少なくするためのエコクッキングや繰り返し使うリユース、ムダなごみを減らすリデュース、リサイクルなどについて学びました。5年生は「味について知ろう」というテーマで、食べた時に感じることを出しました。味には酸味、苦味、甘味、塩味の4つの基本の味があり、甘味と塩味は生まれつき知っている味で、食べすぎに注意することや、酸味と苦味は経験をして覚える味で、練習が必要なことを学びました。6年生は「朝ごはんの役割について知ろう」という学習をしました。目覚めには「頭が目覚め」「体が目覚め」「おなかが目覚め」の3つがあり、朝ごはんを食べることで、学習能力や運動能力のアップにつながり、排便がスムーズになることを学びました。朝から、黄、赤、緑色のなかまの食べ物をバランスよく食べるといいそうですよ。



引き続き感染症対策をお願いします。

「まん延防止等重点措置（5/9～5/31）」が適用され、市内の小中学校では、教職員や児童生徒がPCR検査を受ける学校も増加してきています。学校では、今後もマスクの着用、手洗い・手指消毒、人との距離の確保など、基本的な感染防止対策の徹底とともに、「マスクを外したら話さない」ということを指導強化していきますので、ご家庭でもご理解・ご協力をよろしくお願いします。



（文責 北住 昌文）